

## 抄読会

電子カルテデータベースを用いた

小児用医薬品の副作用シグナル検出手法の検討

博士課程3年 弘田 紗瑛子

### 概要

小児用医薬品は、対象患者の少なさや倫理的な制約から、医薬品開発段階で得られる安全性データは限定的である。製造販売後に継続的な安全性監視を行うため、自発報告を用いた副作用シグナル検出が各国で導入されている。本研究では自発報告を補完する位置付けで、電子カルテを用いた小児用医薬品の副作用シグナル検出手法の検討を行う。

2019年10月の倫理審査委員会承認後より研究を開始し、今回の抄読会では、患者背景、医薬品処方状況、検体検査実施状況を集計した結果と今後の予定について、報告を行った。